

日本代協

今日より明日の品質を上げる



盛大に開催されたコンベンション会場の様子

第8回日本代協コンベンション

日本代協は11月30日、全国の会員代理店や損保業界関係者が一堂に会する「第8回日本代協コンベンション」を東京・台場のクラウドニッコー東
京台場で開催した。今コンベンションには会員代理店など約400名が参
集し、記念式典や代協会員懇談会、基調講演などを催した。その後に関
れた懇親会には保険各社の社長をはじめ業界関係者500名超が参加する
など、会場は活況を呈した。

役割ますます大きなものに 地域のリスクマネージャとして

コンベンションでは冒
頭、日本代協の金子智明
会長が挨拶。自然災害が
相次いだ状況に関しては
「異常気象が普通になる
時代なので、最後の皆と
なる保険普及を担う私た
ち代理店の役割はますます
大きなものになってくる
。同時に、事故や災害
を回避し、被害を最小限
に止める防災・減災の取
組は、地域のリスクマ
ネージャとしての代理
店の価値を高める重要な
責務になっていく」と述
べ、社会動向については
「ITの加速度的進歩に
伴う社会インフラの進展
の面においても、私たち
代理店を取り巻く環境は
大きく変化していく」と
の見通しを示した。

「周囲の環境が大きく変
わるのだから、この先も
お客様に支持され、選択
される代理店になるため
には、自らを変えて日々
改善を繰り返す。昨日よ
り今日は、今日よりは明
日の品質を引き上げてい
くことが重要になる」と
会員代理店に呼びかけ
た。

「変化に対応するに際し
ては「自らの事業
の再定義、すなわ
ち誰のために、何
を目的として、何
を行うために自身
が存在しているの
か、そうした企業
存立の原点となる
座標軸をしっかり
と定めた上で、変
化に対してしなや
かに対応していく
ことが必要だ」と
述べた。



日本代協・金子会長

新日本保険新聞

(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区堀本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2018

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
yatamirror
2019年2月4日 AMまで
※偶数月の第一日曜日正午ごとに変更

災害時の活躍が顧客本位の業務運営の代表例

国民生活の安定に貢献を 顧客ニーズに合致した商品を提供

「次いで、来賓と
して金融庁監督局
保険課長の横尾光
輔氏と損保協会専
務理事の岩崎賢二
氏が挨拶。横尾保
險課長は日本代協の金子
会長同様、近年多発した

「自然災害について言及し
「(災害時に活躍したこ
とで)地域に密着する代
理店として、日頃から果
たしている役割が世の中
に一層、認識されたので
はないか」と述べ
るとともに「災害
時の保険会社や代
理店の活躍はま
さに、有事における
顧客本位の業務運
営の代表例だ」と
その行動を評し
た。

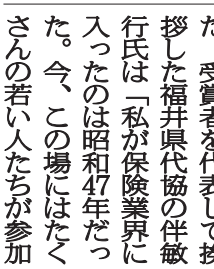


金融庁・横尾保険課長



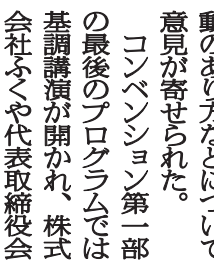
損保協会・岩崎専務

「平時における顧
客本位の業務運営の一つ
として、募集において顧
客ニーズに合致した保険
商品の提供が重要にな
る。代理店の皆さんには
顧客本位の業務運営に前
向きに取り組んでもらう
ことを期待している」と
理解を求めた。



記念式典では、長年に
渡り代協活動に取り組ん
できた会員代理店6氏の
功労者表彰を行い、感謝
状と記念の盾を贈呈し
た。受賞者を代表して挨
拶した福井県代協の伴敏
行氏は「私が保険業界に
入ったのは昭和47年だっ
た。今、この場にはたく
さんの若い人たちが参加

「消費者教育や損害保険
トータルプランナーの取
り組みをはじめ、私た
ちは日本代協の皆さんと
しっかりと対話を重ね
ながら、さまざまな事
業に一緒に取り組んでい
きたい」と期待。
「平時における顧
客本位の業務運営の一
つとして、募集にお
いて顧客ニーズに合
致した保険商品の提
供が重要になる。代
理店の皆さんには
顧客本位の業務運
営に前向きに取組
んでもらうことを
期待している」と
理解を求めた。



「継続して行われた代協会
員懇談会では、事前質問
をふまえた会員代理店か
らの意見や要望に代協役
員が回答するなど、忌憚
のないやり取りが行われ
た。会員代理店からは、
代理店手数料体系のあり
方や日本代協での広報活
動のあり方などについて
意見が寄せられた。

「保険は不安を安心に変
える機能であり、絶望に
希望の光をさす機能があ
る。こうしたことに携わ
っているのを誇りとし、
社会の安心と安全の実現
に向けてぜひ、皆さんと
一緒に取り組んでいき
たい」と自身の思いを言葉
に表した。



ふくや・川原氏

「継いで行われた代協会
員懇談会では、事前問
をふまえた会員代理店か
らの意見や要望に代協役
員が回答するなど、忌憚
のないやり取りが行われ
た。会員代理店からは、
代理店手数料体系のあり
方や日本代協での広報活
動のあり方などについて
意見が寄せられた。
コンベンション第一部
の最後のプログラムでは
基調講演が開かれ、株式
会社ふくや代表取締役会
長、会場の盛り上げた。

「対能でき、明太子が一
般的な食品として普及す
ると考えたからだ。
また、俊夫氏は、明太
子を何個購入してもら
うも、値引きを一切し
なかつた。従業員価格も設
けなかつた。地位に違
いがあるが、金持ちは
客席だという考えを持
っていたからだった。こ
うした経営方針や信念を継
承する正孝氏は「ふくや
から博多へ、博多から福
岡、福岡から全国に元
気を伝えていきたい」と話
した。

「第二部の懇親会には、
金融庁幹部や保険各社の
社長をはじめ、業界関係
者500名超が一堂に会
し、会場を盛り上げた。